

# はなてんびん



## 「院長就任のご挨拶」

院長 森田 益次

平成22年4月1日に院長に就任いたしました。前の職場に17年もいて、積もり積もった書籍や荷物の整理も覚束無い状態で、取りあえず全て自宅の仕事部屋、応接間、別棟の3カ所に分けて段ボール箱のままですが、東近江市、旧滋賀県神崎郡五個荘町の神崎中央病院に赴任いたしました。徐々に段ボール箱の整理にかかる予定です。

朝の8時30分から9時に起床し、夜の11時に帰宅の途に着き、真夜中に晩御飯を食べるという生活習慣ががらりと変化しました。午前6時30分に起床し、洗顔、朝食、歯磨き、整容、出勤、職場に午前8時14分に着き、午後5時過ぎに帰りの準備6時30分過ぎに帰宅という生活パターンに変わりました。海外旅行もしてないのに国内で時差ボケを体験している今日此の頃です。

守山市に住んでいますが、京都とは逆方向に勤務したのが4回あります。最初は昭和47年から1年数ヶ月、週に1回栗東インターから八日市インター経由で東近江市中岸本町のパナホーム（旧ナショナル建材？とか）の工場の健康管理室に、2度目は昭和58年から2年間、週1～2回、福井医科大学に勤めている時に名神栗東インターから北陸自動車道丸岡インター（福井県）に、3度目は昭和61年から5年間、守山の自宅から彦根市八坂町の滋賀県立短期大学に通ってました。4度目はこのたび勤務しました神崎中央病院でJR守山駅から安土駅です。

前の3回の勤務はマイカーでの通勤で若かったせいもあり、また時間にだけに囚われての運転だったのか、車窓からの眺めを楽しむ余裕などなかったせいも、湖東三山の近辺を名神自動車道が通っているのに紅葉が綺麗だなと感じたことがありませんでした。北陸自動車道で福井県から滋賀県に入って、山岳地からいくつかのトンネルを超えて下り勾配の真っ直ぐな道から湖北地方や余呉湖を望む雪景色は感激しました。彦根市の滋賀県立短期大学勤務の時は、琵琶湖岸を彦根まで行くコースと、県道26号線から25号線を通して琵琶湖岸を彦根に行くコース、所謂朝鮮人街道、県道2

号線を彦根に行くコース、国道8号線を彦根に行くコースの4コースを、その日の気分によって選んでマイカー通勤していました。湖岸に近い程、田園風景が多く滋賀県は平野ばかりだと思っていたのですが、この度 JR で通勤してみると思っていた以上に小さな山が数多く守山から東近江にかけて存在しているのが分かりました。

ここから本論ですが、この神崎中央病院には多くの職種の方が働いています。医師・薬剤師・栄養士・診療放射線技師・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・柔道整復師・視機能訓練士・言語聴覚士・看護師・看護補助者・病棟クレーン・医療事務の方・病院事務の方等（漏れていたらごめんなさい）があります。

一人一人のバックグラウンドは違っているのですが、3次元の空間と4次元の時間を同じくして、ここ神崎中央病院で働いているというのは何か不思議な縁を感じずにはおれません。

患者様も同様に、入院患者様外来患者様と病院のスタッフが、空間と時間を同じくしている（極当たり前のようで）のは何かの縁を感じます。

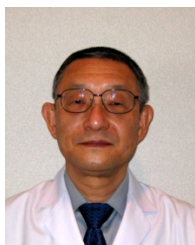
こう考えると怒りや憎しみの感情はどこかへ吹っ飛んでいくようです。

それにもう一つ。我々の体を構成している原子ですが、身分の上下、貴賤はありません。みな45億年前に太陽が出来たときの原子を引き継いでいるのです。

このような気持ちでこれからの仕事を進めて行きたいと思っています。



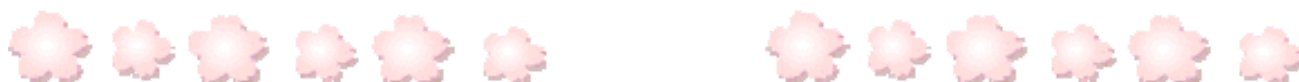
## 新任医師の紹介



内科医師

坂部 準

3月1日より赴任いたしました。  
昭和22年生まれの東京育ちです。  
趣味は歴史探索によるタイムスリップです。その為時々頭の中が混乱することがあります。  
医学の進歩が速すぎてついていくのに苦労していますが、患者さんの心がわかる医者になりたいと思っています。  
よろしくお願ひします。



# 「めまい」

内科医 佐々木 禎治



「めまい」という症状を皆さまからよくお聞きします。神経内科を受診される方の症状で多いものの一つです。転倒したり、転倒しそうになったり、むかつかたり、もどしたりするなど嫌なものです。今回は、この「めまい」についてお話をさせていただきます。

まず、一言で「めまい」と言ってしまうのですが、この言葉で表される状態は一つではありません。

①天井がぐるぐる回る場合、②足下が頼りない場合、③ふわふわ感などがあります。

天井や周りの景色がぐるぐる回る場合は、「回転性めまい」と言い、耳の奥にある前庭系という体のバランスを司っている経路の異常で起こります。お酒を飲んで目の前がぐるぐる回ることがありますが、これはアルコールで前庭系の働きが弱められた結果起こっています。病気として有名なものには「メニエール病」があります。10万人に20人程度の病気ですが、何故かとても有名です。耳の奥の内耳というところの異常で、耳鳴りや耳の閉塞感、難聴が同時に起こります。内リンパ水腫という状態になっているのは判っているのですが、原因の判っていない難病の一つです。治療法は薬や手術などがあり、耳鼻咽喉科で治療されます。他の耳鼻咽喉科で治療される耳の奥（内耳）の病気でも起こります。なかには、頭の向きを変えるだけでめまいが起こる「良性頭位変換性めまい」という病名が付いているものもあります。内科で主に見ている病気としては、「小脳梗塞」などの小脳の病気があります。

足下が頼りない場合、足の力が弱いために起こります。「ふらつき」とも表現できます。脳梗塞などの脳卒中、脊髄の病気やけが、長い間足を使わないことによる筋肉の痩せ（衰え）などが、足の力が入らない原因となっていることが多くあります。

「ふわふわ感」と表現されるめまいは、色々な原因があります。多くの方の場合、ひどい肩こりや頭の周りの筋肉のこりが原因になっていることが多いようです。背骨が傷んでいたり、視力が悪い、歯の噛み合わせが悪いなどの病気が元にある場合もあれば、姿勢が悪い、同じ姿勢を長時間続

けている、運動不足などの普段の生活が原因となっている場合もあります。新しく作ったメガネが合っていないため、ふらついて、メガネを外したら治ったという場合もあります。ただ、脳血管の動脈硬化、不整脈や心臓の病気で脳に流れる血液が少なくなることによって起こる怖い場合があります。睡眠薬や安定剤が体に残っている場合でも起こります。当然、胃潰瘍などの出血で起こる「貧血」でも同じようなことが起こります。

内科、神経内科では、このような色々な原因を考えながら診察や検査を行い、適切な治療を行っていきます。一回だけの「めまい」では原因が判らない場合が多いですけれど、何回も経験したり、長い時間続く場合はご相談頂けるようにお願いします。

### 糖尿病教室の予定 毎月 11 時より

4 月 28 日 薬剤師「あなたはどんな薬を飲んでいるのか！（糖尿病の薬の話）」

管理栄養士「糖尿病食にぴったり！おすすめ食品&ひかえめ食品」

5 月 26 日 臨床検査技師「検査で何がわかるの？（糖尿病検査データの見方）」

管理栄養士「おやつと外食のベストチョイス！（選び方）」

6 月 23 日 看護師「足のお手入れ（糖尿病で足を切らないために）」

管理栄養士「これであなたも糖尿病食マスター！！」



**診療科目：**内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・

耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

人工透析センター

**診療時間：**午前診察 9：00～11：30

午後診察 13：30～16：00

**診察日：**月～金 午前診察・午後診察

土 午前診察

※ 日曜日・祝日は休診



医療法人 医誠会  
神崎中央病院

ホロニクスグループ

〒529-1445

東近江市五個荘清水鼻町 95 番地

TEL 0748-48-5555

FAX 0748-48-5556

E-mail info@kanzakihp.com

URL <http://kanzakihp.com>

< 地域連携室 >

TEL 0748-48-5558

FAX 0748-48-5722